

第69回春季東北地区高等学校野球宮城県大会

□大会第9日目 5月18日(水)

準々決勝	石巻市民球場	2時間 5分	打安点盗犠四三残失併
東	北	2 5 0 2 4 5	【東】 31 16 15 8 5 5 1 5 2 0
学院	榴ヶ岡	1 2 0 1 0 0	【榴】 24 4 3 0 0 3 10 5 7 0
(6回コールド)			
(球)	布田秀斗 (一) 佐々木勝弘 (二) 三浦 徹 (三) 沼辺力也	▽本塁打	なし
【東】	小倉, 井山	▽三塁打	柴田(東)
【榴】	諸原, 橋本, 山中	▽二塁打	柴田2 (東) なし (榴)
▽暴投	小倉1(東) 橋本1(榴)	▽捕逸	白鳥1(榴)

【評】

打線の爆発と積極的な走塁で着実に得点を重ね、相手打線を4安打4得点に抑えた東北が6回コールドゲームで勝利した。

東北は初回、1死2塁から柴田の左飛で東海林が一気に生還し先制、初回合計2得点を挙げた。2回も2四球と5安打で5点を加え主導権を握った。榴ヶ岡も初回無死満塁としたが後続が連続三振に抑えられ、暴投による1点に終わった。2回も2点を返し食いだしたが、4回以降も効果的な安打と、敵失も絡めて追加点を重ねた東北が、相手打線を4安打4得点に抑えて勝利した。

記録：谷藤正樹(富谷)

準々決勝	仙台市民球場	2時間 10分	打安点盗犠四三残失併
仙	台	3 0 0 0 0 0	【仙】 28 5 1 1 3 4 6 4 2 2
古	川	3 0 0 2 0 2	【古】 33 12 8 1 1 4 2 6 3 0
(10回コールド)			
(球)	毛利 晃 (一) 野田 学 (二) 山下 大輔 (三) 水戸 恭平	▽本塁打	なし
【仙】	相澤, 三瓶, 千葉, 山本	▽三塁打	なし
【古】	吉田陽, 三浦	▽二塁打	相澤 (仙) 齋藤, 林, 吉田祐 (古)
▽暴投	なし	▽捕逸	なし

【評】

古川学園が投打に圧倒し、準決勝の進出を決めた。吉田陽と相澤の先発で始まった準々決勝戦は、初日に仙台一高は野手の失策で3点をもぎ取るが、古川学園も野手の失策が絡み同点に追いついた。仙台一高は2、3回まで0点を抑えるが、徐々に古川学園の打線がとらえ始める。4回裏にも失策が絡み、9番林、2番の青沼が適時打で2点追加した。6回に2点、7回に1点を追加し試合を決めた。

投げては先発した吉田陽が4失点したが自責点1に抑えた。2番手の三浦も8回表から登板し好投した。

記録：高玉太輝(仙台工業)

準々決勝	仙台市民球場	3時間 0分	打安点盗犠四三残失併
ウ	ェル	0 1 0 1 0 0	【ウ】 21 2 2 0 4 7 7 6 2 0
仙	台	0 0 0 6 1 0	【仙】 32 8 8 8 1 12 6 13 0 0
(8回コールド)			
(球)	佐藤 圭 (一) 西山 充 (二) 西城 皇祐 (三) 嶋田 代志昭	▽本塁打	なし
【ウ】	早坂, 三浦, 佐藤憲, 菅井, 大内	▽三塁打	なし
【仙】	仁田, 高橋, 古川, 鈴木, 山田	▽二塁打	なし (ウ) 遠藤, 町田 (仙)
▽暴投	なし	▽捕逸	なし

【評】

日本ウェルネス宮城が2回表4四球で労せず先制し、4回死球と8番鈴木のパントヒットと9番三橋のスライズで追加点を挙げ、試合を優位に進めた。しかし、直後の4回裏日本ウェルネス宮城の先発早坂が3四死球と突如乱れ、7番遠藤に中前安打を浴びるなどし、6点と大量失点してしまう。仙台育英学園は、5回7番遠藤の左越え二塁打と9番岡田の左前安打で1点を加え、8回日本ウェルネス宮城の五番手大内が2四死球を出したところを9番町田が左中間に二塁打を打ち、試合を決めた。

両チームの繰り出した投手は総勢10人。19四死球と投手に安定感を欠いた3時間に及ぶ試合であった。

記録：熊坂直人(仙台第一)

準々決勝	石巻市民球場	1時間 47分	打安点盗犠四三残失併
東	陵	0 0 0 0 0 1	【東】 29 3 1 2 1 3 3 5 1 1
仙	台	0 0 0 0 0 0	【仙】 32 7 2 3 1 2 3 7 1 1
(2x)			
(球)	森山宏則 (一) 武田 徹 (二) 佐藤拓哉 (三) 高橋 勝	▽本塁打	なし
【東】	前田	▽三塁打	今野(東)
【仙】	丸山, 朝倉	▽二塁打	なし (東) なし (仙)
▽暴投	朝倉1(仙)	▽捕逸	なし

【評】

劇的なサヨナラで仙台三高が接戦を制した。両先発投手がリズムよく投げ合い、得点のないまま迎えた6回表、均衡を破ったのは東陵だった。連打で無死1・3塁と好機を作り、3番今野のレフト犠牲フライで1点を先制。その後は東陵先発前田、仙台三高二番手朝倉が互いに譲らず、1対0のまま迎えた最終回、二死2・3塁とチャンスを作った仙台三高は、8番朝倉が甘く入った初球を逃さず、左中間へのサヨナラ打で試合を決めた。東陵は先発前田が自責点0と好投したが、打線が3安打と振るわず、追加点を奪えなかった。

記録：佐藤克行(志津川)